

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	デイスサービスまリモ			
○保護者評価実施期間	令和8年1月29日	～	令和8年2月28日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数)	7人
○従業者評価実施期間	令和8年1月29日	～	令和8年2月28日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11人	(回答者数)	11人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月3日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	自然とのふれあいなど、原体験を通じた支援の取組	農家の方と連携を図っての農作業体験や、収穫した作物を使ってクッキング体験から食育への取組み四季を感じとれる自然豊かな場所への外出イベントなど、五感を活かした支援の取組みを行っております。	体験の幅を広げていけるよう提携先を拡大し新たな取組みを取り入れていきます
2	安心、安全にご利用いただけるよう、安全面への取組み	日々の清掃・消毒、光触媒コーティングでの衛生管理など、清潔かつ安全に活動できる環境作りを行っております。その他にも敷地内に駐車スペースを設け、送迎の乗り降りが道路を横断せず行える等、安全面への取組みに配慮しております。	随時、安全面への取組みを見直し、改善し、より安心、安全にご利用頂けるよう努めさせていただきます。
3	各スタッフのスキルを活かした支援の取組み	各スタッフのスキルを療育に取り入れ、音楽家による音楽体験や療育、インターナショナルスクール講師による、多言語スキルを活かした支援など、各スタッフの個性を活かした取組みを行っております。	より幅広い支援や活動が行えるよう、研修会や勉強会などを通じて、日々スタッフのスキルアップに努めさせていただきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流や避難訓練など、実際に行われている活動や支援内容が、詳しく伝わりきっていない	活動内容の伝達が不十分である	口頭での説明だけでなく、パンフレットなどの資料、写真や映像での伝達など工夫を行い、見える化していけるよう努めさせていただきます。
2	保護者同士の交流の機会が限られている	保護者参加可能なイベントや研修会など、開催回数に限られている	イベントや研修会の開催など、保護者同士の交流の機会を増やしていけるよう、努めさせていただきます。
3	各スタッフのスキルアップ	勤務年数や経験年数に比例して、熟練度や対応の幅に差があるのではないかと	全てのスタッフが高いクオリティで支援を行えるよう、研修会や勉強会の実施や参加など、スキルアップに努めさせていただきます。